

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	濾胞性リンパ腫 辺縁帯リンパ腫	R-R
投与予定	休薬を含めて 1クール	28 日 12クール

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day→)			
							1	8	15	22
リツキシマブは2~5クール目はDay1のみ投与 6クール目以降は中止(レナリドミドのみへ)										
1	生食	50ml			点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓
2	生食 + <input type="checkbox"/> メチルプレドニゾン or <input type="checkbox"/> ヒドロコルチゾン	20ml 40mg 100mg			静注		↓	↓	↓	↓
3	生食★ <b>リツキシマブ</b>	100/500ml <b>375</b> mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	点滴静注	医師の指示通り	↓	↓	↓	↓
		★2回目以降 <b>90分</b> で投与する場合は生食 250ml規格で →		ml						
4	生食	50ml			点滴静注	5分	↓	↓	↓	↓

Rp	薬品名	薬価最小组み合わせ	備考						
3	リツキシマブ	<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>内訳</td> <td>100mg</td> <td>0mg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>500mg</td> <td>0mg</td> </tr> </table>	内訳	100mg	0mg		500mg	0mg	1~4mg/mlに希釈調製し使用する。 初回: 50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降: 下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、30分毎に100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴
内訳	100mg	0mg							
	500mg	0mg							

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
レナリドミド	20mg	分1朝食後	day1~21
イブプロフェン	100mg	リツキシマブ30分前	リツキシマブ施行日
d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ30分前	

別途ステロイドを使用している場合はリツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。

備考	
----	--